

旧海上中学校で防災訓練

8月26日、旧海上中学校を主会場として旭市総合防災訓練が行われました。

当日の朝8時に震度6強の地震が発生したという想定で、住民避難訓練をはじめ、救護訓練や水防訓練、初期消火訓練などさまざまな訓練が行われました。また、各支所においても職員、消防団による参集・伝達訓練や土のう作りが行われ、猛暑の中、汗だくになりながら訓練を行いました。

▶初期消火訓練



▲住民避難訓練



▲救護訓練



▲飲料水供給訓練

旭市が全国消防救助技術大会 第2位

8月22日、東京都夢の島消防訓練場で第36回全国消防救助技術大会が開催され、全国から約1,000人の消防救助隊員が日頃の救助訓練の成果を披露しました。

千葉県代表の旭市消防本部は「ほふく救出」の部に出場。見事、第2位という素晴らしい成績をおさめました。「ほふく救出」は重いポンペを背負い、長さ8メートルの煙道から要救助者を助け出す、速さとともにその確実性が要求される訓練です。消防救助はそのひとつひとつが人命にかかわる大切な仕事。日々の努力が市民の安全・安心を支えています。



◀右から越川行弘消防司令補、林靖裕消防副士長、小澤玄季消防副士長

憧れのプレーヤーに感激 NTT東日本バドミントン教室



◀熱心な指導に参加者も真剣

バドミントンの啓発と技術の向上を図ろうと、NTT東日本バドミントン教室が8月25日、旭市総合体育館で開催されました。当日は日本トップクラスの選手たちがズラリ。参加者も現役スター選手に直接指導してもらえるとあって、小学生から高校生まで約200名が参加しました。選手たちの熱心な指導に参加者たちも真剣そのもの。休憩時にはあこがれの選手との記念撮影やサインを求める姿も見られ、忘れられない一日となりました。

最高の芝生でおもいきりプレー

千葉県総合スポーツセンター東総運動場

8月18日、19日の2日間、東総運動場主催による「ゼムノヴィッチさんのサッカー教室」と「つばき杯（U-12）サッカー大会」が行われました。18日のサッカー教室では市内の子どもたちなど100人が参加。元清水エスパルス監督のゼムノヴィッチさんをむかえ、練習やゲームを楽しみました。また、翌日のサッカー大会では、旭市、銚子市、千葉市、市原市、佐倉市、長生郡の6チームが参加。旭市からはスポーツアカデミーが参加し、熱戦を繰り広げました。



▲芝生の感触を楽しみながらプレーする子どもたち



◀やさしく語りかけるゼムノヴィッチさん

実りの秋を実感

市内各所で稲刈り体験

県内屈指の穀倉地帯を誇る旭市。黄金色の稲穂が波を打つ9月、市内小学生や都市住民による稲刈り体験が行われました。

▶ 滝郷小の児童（9月4日）



▲ かすりの着物を身にまとった都市住民が稲刈りを体験（9月2日／大原幽学遺跡史跡公園）

▼ 萬歳米の刈り入れ。この後、太巻き寿司づくりと梨狩りも体験（9月1日）



全国大会に出場

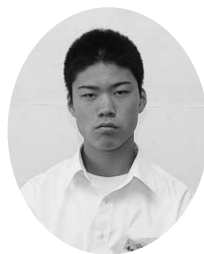
（敬称略）

〈卓球〉ジュニアオリンピック・カデットの部
（滋賀県 11／9～11）



林みどり（一中2年）、石井知佳（一中2年）、安藤七海（一中2年）
加瀬涼華（富浦小6年）、林めぐみ（干潟小6年）

〈陸上〉ジュニアオリンピック陸上競技大会（神奈川県
10／26～28）



青木光太郎（二中3年）、
種目／400m



篠塚直樹（二中3年）、
種目／ジャベリックスロー



▲ ラリーが続く交流戦

中学生が卓球で交流

江戸川区・旭市中中学生スポーツ交流

次代を担う子どもたちがスポーツを通じ交流を深め、心身の健全な育成を図るスポーツ交流事業が、9月16日、17日に総合体育館で開かれました。今回のスポーツは卓球で、江戸川区の4つの中学校から36人の男子生徒が、市内4つの中学校からは52人の男子生徒が参加。個人戦、団体戦のほか、2日目には元全日本卓球選手権チャンピオンによる指導会も行われ、交流と併せ技術の向上も図られました。なお、江戸川区の子どもたちは県立海上キャンプ場に宿泊し、夕食には旭市産の食材をふんだんに使ったバーベキューを満喫。これからも、旭市の豊かな食材や自然などを活用し、都市住民との交流が図られます。